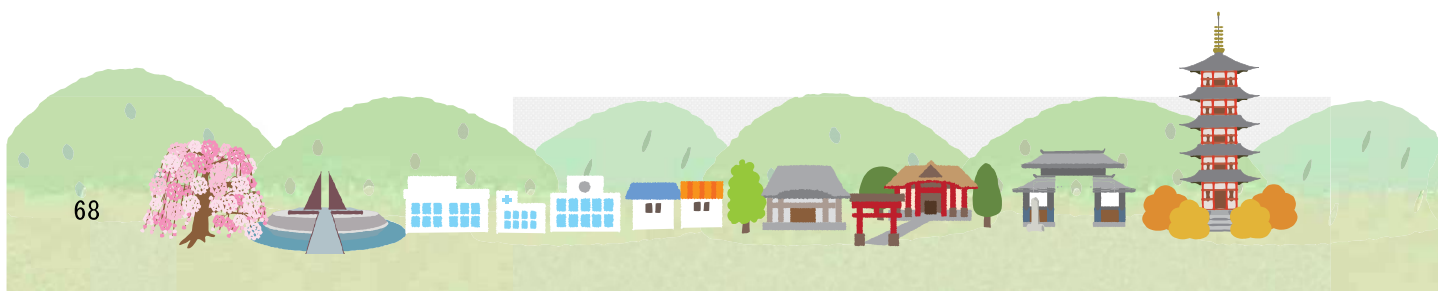


活力あるまち

基本構想
施策の
方向性

- 3-1 地域資源の保全及び産業と連携した活用
- 3-2 地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成
- 3-3 基幹産業である農林業の再生・活性化
- 3-4 商工業の再生・活性化
- 3-5 観光戦略の推進

評価指標	現状値		目標値 (2029年)	指標の考え方
	前期基本計画 策定時	中期基本計画 策定時		
地域資源を 活かした 商品開発数	37件 (2017年度)	40件 (2020年度)	60件	地域の特性を活かした産業振興等により、地域資源を活かした商品（食品、農林産物、観光商品等）の開発が進展する と考えます。
観光入込客数	1,401千人 (2017年度)	976千人 (2020年度)	2,000千人	市内における経済活動の活発化を目指して、地域資源を活用した観光戦略を推進 することで、観光入込客数が増加する と考えます。



SDGs

<p>経済成長 と雇用</p> <p>8 働きがいも 経済成長も</p>	<p>持続可能 な都市</p> <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>	<p>陸上資源</p> <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p>	<p>実施手段</p> <p>17 パートナリシップで 目標を達成しよう</p>
--	--	--------------------------------------	--

基本構想

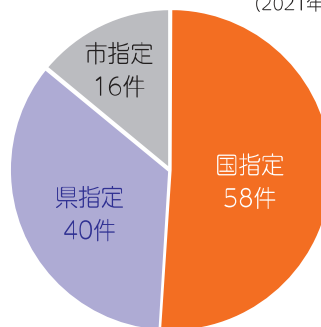
施策の
方向性

3-1 地域資源※33 の保全及び産業と連携した活用

現状

- ▶ 宇陀市には日本遺産※34 に認定された室生寺をはじめ、国・県・市指定の文化財や歴史的な街なみ、歴史と文化の中で継承されてきた魅力的な行事等が存在
- ▶ 松山地区伝統的建造物群保存地区の保存・活用、史跡宇陀松山城跡の史跡指定地の拡大及び公有化に向けた取り組みを実施
- ▶ 伝統文化等の担い手が減少しており、保存継承が困難
- ▶ 宇陀市産材の利用促進に向けた支援
- ▶ 宇陀市の魅力をブランドとして確立していくための情報を発信

国・県・市指定文化財登録数
(2021年4月1日現在)



課題

- ▶ 2017年の台風による被害を受けた史跡宇陀松山城跡の復旧工事の実施
- ▶ 伝統文化等の継承に向けた担い手の育成
- ▶ 豊かな自然・歴史・文化といった、宇陀市の魅力の発信及び有効活用
- ▶ 宇陀の木など農林水産物をはじめとした地域資源のブランド化による付加価値の創出や情報発信



復元した宇陀松山城の3DCG

※33. 地域資源：国の施策では農林水産物や鉱工業品、産地の技術、観光資源といった地域の特徴ある産業資源のことです。総合計画においては宇陀市における特徴的な自然、歴史、文化、伝統、農林畜産物、観光地など有形、無形のものです。

※34. 日本遺産：文化庁により認定された、地域の歴史的な魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーのことです。

目指すまちの姿 3

施策

① 歴史・文化資源の整備や保護・活用を推進します

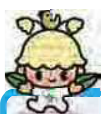
- ▶伊勢街道、街道沿いの旧旅籠「あぶらや」、室生寺門前等の町なみを保存継承するとともに、近隣市村と連携した活用の推進
- ▶歴史・文化資源の活用に取り組むとともに、歴史的町なみや史跡の保護、整備の推進
- ▶郷土の歴史や文化財、伝統文化に対する理解を深めるために埋蔵文化財や郷土資料等の展示、講演会・講座等の実施
- ▶伝統文化や祭り、民俗行事、郷土芸能等の保存や後継者育成を担っている団体の支援
- ▶遺跡の発掘調査を行うとともに、保護対策を講じ、後世に郷土の歴史の継承
- ▶国・県・市指定文化財の所有者が行う建造物等の保存修理や防災設備の設置・点検等への支援



伊勢本街道(旧旅籠「あぶらや」前)

② 宇陀産の誇れるものを「大和高原宇陀ブランド」として推進します

- ▶農林産物や特産品のほか自然環境・歴史文化資源等の地域資源を「大和高原宇陀ブランド」として、YouTube等により広く発信するとともに、YouTuberの育成
- ▶商工会や観光協会、金融機関等と連携し、地域商社^{※35}を構築し、農林産物に付加価値のついたブランド品の育成
- ▶都市部での販売を促進するため、販路の拡大



こんな事業をしています

(事業は2021年度)

- 文化財保存修理等助成
- 民俗文化財伝承補助
- 史跡宇陀松山城跡保存整備
- 大和高原宇陀ブランドプロモーション

こんな計画が関連しています

- 史跡宇陀松山城跡保存整備基本計画
- 史跡森野旧薬園保存活用計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市歴史的風致維持向上計画(策定中)
- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市松山伝統的建造物群保存地区保存計画

※35. 地域商社：地域の多くの関係者を巻き込み、農産物等の地域の資源をブランド化し、生産、加工から販売まで一貫してプロデュースし、地域内外に販売する組織のことです。

SDGs



基本構想

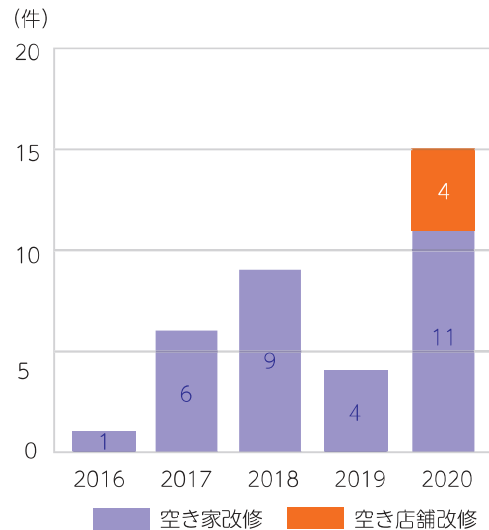
施策の方向性

3-2 地域の産業の発展を担う次世代の人材の確保や育成

現状

- ▶ 奈良県・宇陀市・ロート製薬株式会社で「大和高原の魅力ある仕事づくりに関する連携協定」を2016年に締結し、「食と農」をテーマに、地域おこし協力隊^{※36}制度を活用し、官民連携による起業家を育成
- ▶ 高齢化が進む農林業の担い手が不足
- ▶ 地域おこし協力隊制度等を活用し、有害鳥獣対策や薬草など地域の資源を活かした起業に向けた活動を支援
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワーク^{※37}など、働き方が変化
- ▶ 中期基本計画策定に向けた市民アンケートで、これからの宇陀市にとって必要な取り組みについて、「雇用の場の確保」を挙げる人が最も多かった
- ▶ 空き家や空き店舗を活用した起業・創業について、その改修等の費用を助成

空き家・空き店舗の改修に対する補助金を利用した起業件数



※空き店舗改修に対する補助金は2020年度から開始

課題

- ▶ 空き家・空き店舗の利活用の促進
- ▶ 離農により発生している遊休農地の有効活用の促進
- ▶ 働き方の変化や地方回帰への関心の高まりに応じた働く環境づくりの確保
- ▶ 市内での就職を促進するために、雇用の拡大
- ▶ 経営が不安定な就農直後の担い手に対する支援

※36. 地域おこし協力隊：都市地域から過疎地域等の条件不利地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や農林水産業への従事、住民支援等を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みのことです。

※37. テレワーク：情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことです。

はじめに
宇陀市の紹介

中期基本計画の
策定にあたって

基本構想

基本計画

健康なまち

暮らしやすいまち

活力あるまち

生涯輝くまち

自然豊かなまち

地域力を発揮するまち

資料編

目指すまちの姿 3

施策

① 起業家など多様な人材を育成します

- ▶ 空き家・空き店舗の活用など起業に向けた支援の充実
- ▶ 地域おこし協力隊等を活用し、農林業の担い手の確保
- ▶ 地域おこし協力隊・仕事づくり推進隊として活動してきた隊員が定着し、起業できるよう支援
- ▶ 多様な働き方に対応したサテライトオフィスの整備・活用
- ▶ 土地を有効活用し、既存事業所の規模拡大につなげ、雇用を確保できる環境づくりの推進
- ▶ 新規就農者が安定して農業経営ができるよう支援
- ▶ 企業等と連携して、地域資源を活かした雇用の場の創出



空き家を改修し起業



サテライトオフィス内のオープンスペース(イメージ)



こんな事業をしています

(事業は 2021 年度)

- 仕事づくり推進隊設置
- 農業サポート人材育成
- 林業従事者人材育成

こんな計画が関連しています

- 大和高原の魅力ある仕事づくりに関する連携協定
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

SDGs



基本構想

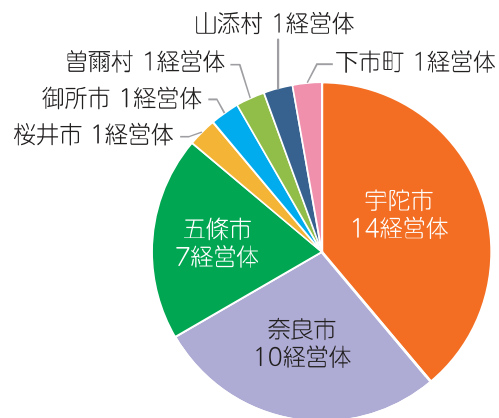
施策の方向性

3-3 基幹産業である農林業の再生・活性化

現状

- ▶ 伊那佐東部地区に県東部で初の「特区」となる特定農業振興ゾーン^{※38}が奈良県により設定
- ▶ 中山間地域等直接支払事業^{※39}や多面的機能支払交付金事業^{※40}等の活動を継続して行っている組織（集落）に対して支援を行っており、高齢化が進行
- ▶ 若年層の農林業や農山村への意識の低下や後継者不足により、農林業経営が難航
- ▶ 大和高原地域の恵まれた気候等により、宇陀市では有機農業^{※41}が盛ん
- ▶ 農業経営における農業用機械の更新費が負担
- ▶ 電気柵等の設置により、イノシシの被害は一定の効果が出ているが、シカ等の被害が増加
- ▶ 害獣駆除と企業活動を併せ持つジビエ^{※42}利活用施設を建設
- ▶ 薬とゆかりのある宇陀市を薬草のまちとして推進するため、宇陀市薬草協議会を設立し、大和当帰等の栽培や薬草メニューの開発など薬草を活用したまちづくりを展開

県内の有機農業経営体数



(出典：国内事業者一覧（農林水産省HP 2022年2月）)

課題

- ▶ 大宇陀南部地域の農業用水である宮奥ダムの老朽化対策
- ▶ 農林畜産業の効率的で安定した経営の促進
- ▶ 農林畜産物の安定した販売に向け、生産・流通体制の強化
- ▶ 付加価値の高い農作物づくりの推進
- ▶ 森林の保全を図り、林業施業の基盤の強化

※38. 特定農業振興ゾーン：農地を有効に活用し、農業の生産性の向上を図るために奈良県がエリアを設定するものです。

※39. 中山間地域等直接支払事業：平地から山間地にかけて、傾斜地が多く農業が不利な地域において、継続的な農業生産活動を行う農業者を支援する事業です。

※40. 多面的機能支払交付金事業：農地や水路等の基礎的な保全活動や質的向上を図る共同活動、水路や農道等の施設の長寿命化に対して支援する事業です。

※41. 有機農業：化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと、並びに遺伝子組み換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した農業生産の方法を用いて行われる農業のことです。

※42. ジビエ：狩猟で捕獲した野生鳥獣の肉や料理のことです。

はじめに
宇陀市の紹介

中期基本計画
策定にあたって

基本構想

基本計画

健康なまち

暮らしやすいまち

活力あるまち

生涯輝くまち

自然豊かなまち

地域力を発揮するまち

資料編

目指すまちの姿 3

施策

① 地域の特性を活かした農業生産基盤の整備と農地の有効活用を推進します

- ▶ 農業の担い手への農地の集約と集積を進め、スマート農業^{※43}やデジタル技術の活用による次世代農業を推進することで、高収益作物への転換の促進
- ▶ 伊那佐東部地区に設定されている特定農業振興ゾーンがモデル地区となる取り組みを行い、県や大和高原南部土地改良区等との連携を図り、他地域にも設定されるよう生産性の向上
- ▶ 農道の整備・維持を進めるとともに、農業用水路等の長寿命化や農地の保全等の活動に取り組む組織（集落）の支援
- ▶ 安定した農業用水を確保するため、宮奥ダムの管理運営を行うとともに老朽化対策の実施

② 人材の確保と育成など魅力ある農林畜産業経営の強化を図ります

- ▶ 東部農林振興事務所や大和野菜研究センターなど県との連携を図り、有機農業を推進するとともに、拠点の創出
- ▶ 地域農業を支える担い手が安定した農業経営を行えるよう支援
- ▶ 化学肥料・化学合成農薬の低減する取り組みと合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動（環境保全型農業直接支払交付金事業）の推進
- ▶ 防除技術を持つ人材を育成し、地域ぐるみでの効率的な鳥獣害対策の支援
- ▶ シカ・イノシシを地域の資源と位置付け、良質な食肉として生産するためにジビエ利活用施設の整備
- ▶ 奈良県フォレスターアカデミー^{※44}と連携し、林業の担い手確保や活性化の支援
- ▶ 畜産業では、奈良県と連携しながら、鳥インフルエンザ^{※45}や豚コレラ^{※46}等の感染症対策の促進



処理したジビエを調理

③ 農林畜産物の生産・流通を推進します

- ▶ 農林産物品評会やうだ産フェスタを開催し、農林産物生産者等の営農意欲や生産品の品質の向上
- ▶ 宇陀市薬草協議会との連携強化や地域おこし協力隊制度の活用により、大和当帰やセネガ等の薬草栽培を推進するとともに、薬草のまちとして薬草の魅力の発信
- ▶ 米の生産調整のため、耕作しない水田で生産する黒大豆・小豆の産地化・ブランド化を図るとともに生産者の支援
- ▶ 宇陀市産木材を利用した新築や増改築に対して支援を行うとともに、宇陀の木のブランド化や間伐材の利用の推進
- ▶ 農産物直売所等において、農林畜産物や特産品等を販売するなど流通体制の強化



開伐材を利用して加工

※43. スマート農業：情報通信技術（ICT）やロボット、ドローン、自動運転技術等を活用して農作業を省力化、精密化し、生産性を向上させる農業のことです。

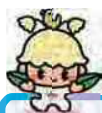
※44. 奈良県フォレスターアカデミー：経済性と環境保全を両立する「恒続林」をはじめとした森林管理手法により持続可能な林業の担い手となる人材を養成する機関のことです。

※45. 鳥インフルエンザ：高病原性インフルエンザの略で、鳥に感染するインフルエンザのうち重篤な症状を起こすものです。

※46. 豚コレラ：豚コレラウイルスの感染による豚とイノシシの病気で、強い伝染力と高い致死率が特徴です。

④ 山林を適切に管理します

- ▶ 林業の中核的な存在である森林組合と連携した森林整備の推進
- ▶ 作業路の開設など森林施設の効率化や間伐を推進し、森林の多面的機能の維持
- ▶ 森林施設の集約化に必要となる山林境界の明確化の推進
- ▶ 里山の針葉樹林を広葉樹に転換するなど、水源涵養機能^{※47}等の維持



こんな事業をしています (事業は 2021 年度)

- 特定農業振興ゾーン推進
- 多面的機能支払交付金
- 中山間地域等直接支払交付金
- ギビエ利活用プロジェクト
- 有害鳥獣対策
- 薬草を活用したまちづくり
- うだ産フェスタ
- 美しい森林づくり基盤整備
- 里山の広葉樹林再生
- 森林環境譲与税の活用

こんな計画が関連しています

- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市森林整備計画
- 宇陀市特定間伐等促進計画
- 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
- 公共建築物における宇陀市産木材利用促進方針

※47. 水源涵養機能：森林の土壌が降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させたり、雨水が森林土壌を通過することにより、水質が浄化される機能のことです。

目指すまちの姿 3



基本構想

施策の方向性

3-4 商工業の再生・活性化

現状

- ▶ 大和高原の玄関口である榛原駅周辺では、県施設跡地等の未利用地やビルの空き室が目立つ
- ▶ ウッピー商品券やプレミアムハッピー商品券を発行し、個人の消費喚起を促し、地域経済を活性化
- ▶ 経営者の高齢化が進み、後継者不足による廃業が発生
- ▶ 宇陀市菟田野毛皮革産業振興協議会を中心とした商品開発や販路拡大に取り組む地場産業である毛皮革産業の育成・振興を支援
- ▶ 市内には、都市部など市外を中心に取引を行ったり、知る人ぞ知るといったその分野では有名な企業が存在
- ▶ 中期基本計画策定に向けた市民アンケートで、これからの宇陀市にとって必要な取り組みについて、「雇用の場の確保」を挙げる人が最も多かったほか、事業者との座談会で土地の活用による働く場の確保を望む声があった

課題

- ▶ 榛原駅周辺の未利用地やビルの空き室等の有効利用
- ▶ 働く場の確保のため、産業ゾーンとして位置付けられている市街化調整区域の土地の活用
- ▶ 既存事業所が有する技術を生かし、時代に即した新たな分野への進出の促進
- ▶ 既存事業所の事業承継や事業活動に対する支援
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大など予測不能な事態に備え、事前対策を促進し、事業継続力の強化の支援
- ▶ 今後の宇陀市の地域経済を支えていくために、農林畜産業や地場産業の振興とともに、既存事業者への支援や新たな企業の誘致
- ▶ 創業や企業誘致による事業所の増加の推進

施策

① 駅前の活性化を推進します

- ▶大和高原の玄関口となる榛原駅前の空き地を活用して交流施設を整備するとともにマルシェ等を開催し、にぎわいと交流の拠点づくり
- ▶奈良県東部農林振興事務所や市有地等の有効利用
- ▶大都市に近い立地や豊かな自然を活かして、駅前や駅前商店街のにぎわいづくり



榛原駅前に整備の交流施設（イメージ）

② 地元で活動する事業者を支援します

- ▶市街化調整区域に地区計画を定め、環境と調和した企業の事業拡大、活性化
- ▶地場産業である毛皮革産業の振興を図るため、奈良県等と協力し、商品開発や販路拡大、及び工場団地機能の充実
- ▶宇陀商工会と連携して、ウッピー商品券やプレミアム商品券を発行することで地域経済の活性化
- ▶経営相談や事業継承等の商工会の活動の支援
- ▶奈良県信用保証協会や金融機関と連携した事業経営に対する支援
- ▶新型コロナウイルス等の感染症が発生した場合でも事業を継続できるよう、事業継続に向けた取り組み

③ 企業誘致を進めるとともに新たな産業の展開を支援します

- ▶企業を誘致しやすい基盤整備を図るとともに、自然が豊かで大都市に近い便利な田舎を活かした企業誘致
- ▶榛原駅周辺ビルの空き室を活用したサテライトオフィスの整備・活用や空き店舗等での起業に対する支援
- ▶自然環境や歴史文化資源に恵まれた宇陀市でのワーケーション^{※48}の推進
- ▶奈良県や宇陀商工会と連携して、市内で創業する事業者の支援



こんな事業をしています （事業は 2021 年度）

- 榛原駅前交流施設整備
- ウッピー商品券発行
- 宇陀商工会支援
- 中小企業資金融資
- 企業立地推進
- 創業支援助成

こんな計画が関連しています

- 宇陀市都市計画マスタープラン
- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市空家等対策計画

※48. ワーケーション:仕事（ワーク）と休暇（バケーション）を組み合わせた造語で、観光地等で休暇を取りながら、一部の時間を仕事に充てるワークスタイルのことです。

目指すまちの姿 3

SDGs

保健	経済成長と雇用	持続可能な都市	実施手段
3 すべての人に健康と福祉を	8 働きがいも経済成長も	11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナリシップで目標を達成しよう

基本構想

施策の方向性

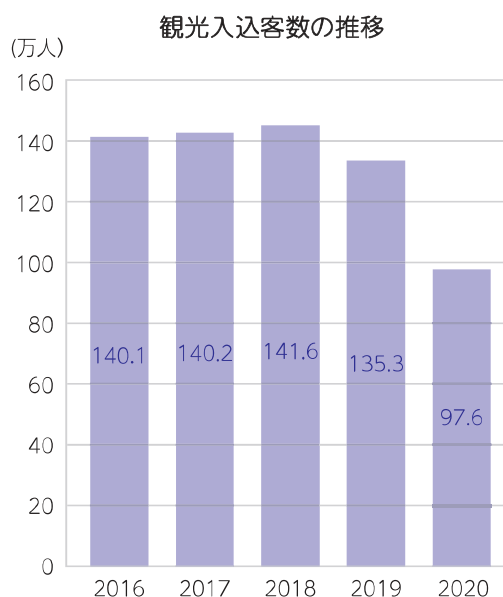
3-5 観光戦略の推進

現状

- ▶ 宇陀市には伊勢街道や日本遺産に認定された女人高野室生寺、松山地区伝統的建造物群保存地区・史跡宇陀松山城跡等の歴史・文化資源や豊かな自然、温泉といった様々な観光資源を保有
- ▶ 外国人観光客の受け入れ環境を整えるため、パンフレットの多言語化やフリーWi-Fiスポット^{※49}の設置等を整備
- ▶ 「死ぬまでに行きたい!世界の絶景」新日本編に掲載された龍王ヶ淵は「池の水面が鏡張りのように木々を映し出す」として人気が拡大
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出の自粛やイベントの開催が困難になるなどの影響により、観光客が減少
- ▶ 市内宿泊者の約8割を受け入れている保養センター美榛苑は、供用から40年以上が経過し、老朽化が進行
- ▶ 奈良県では、2021年に南部・東部振興基本計画を策定し、訪れたくなる地域づくりを柱の一つに位置付け、取り組む

課題

- ▶ 道の駅など老朽化している観光施設について、施設の魅力の向上
- ▶ 外国人観光客の受け入れ環境を整え、誘客に向けた情報の発信
- ▶ 地域活性化や賑わいを創出するために地域資源との連動
- ▶ 「関係人口」を増やすため、新たなファンの獲得
- ▶ ターゲットに合わせた観光資源のPR
- ▶ 広域での周遊・滞在型観光に向けた、周辺自治体との連携強化
- ▶ 今後の宿泊施設のあり方の検討



※49. フリーWi-Fiスポット：パソコンやスマートフォン等を無線でインターネットに接続できる環境を開放しているエリアサービスのことで、誰でも無料で利用できます。

施策

① 魅力ある地域資源を維持し、観光地として整備します

- ▶伊勢街道や東海自然歩道等のハイキング道、登山道、レンタサイクル道だけでなく、案内情報が不足している誘導看板を整備し、周遊環境の充実
- ▶新たな宿泊施設の誘致や保養センター美榛苑の利活用を検討しながら、宿泊環境の充実に取り組むなど、滞在型観光の推進
- ▶観光需要に対応した駐車場やフリー Wi-Fi スポット等の整備を進めるとともに、老朽化している観光施設の魅力向上
- ▶近年注目が集まっている「龍王ヶ淵」など新たな観光資源を掘り起こして、地域資源を活かした観光の推進
- ▶観光施設の多言語表記や観光看板の多言語化、観光トイレの洋式化など、外国人観光客の受け入れ環境の充実



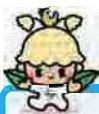
鏡張りのような水面の龍王ヶ淵

② 満足度を高める取り組みを推進し、観光客や関係人口を増やします

- ▶古事記・日本書紀・万葉集や伊勢街道等の歴史・文化資源を活用した事業の展開
- ▶日本遺産である女人高野室生寺でのイベントを関係市町と連携し、室生寺への誘客や門前の商店を含めた地域活性化
- ▶うだ・アニマルパークや松山地区伝統的建造物群保存地区等への誘客について奈良県と一体となった推進
- ▶観光協会等との連携の強化を図りながら、地域に根付いた観光イベントの支援や観光施設等での「おもてなし」の向上
- ▶民泊による滞在型観光の支援
- ▶還暦野球等のスポーツ大会や合宿等の誘致・開催を行うことで、関係人口を増加させるとともに、市内に滞在することで、地域経済の活性化

③ 観光PRや情報発信の強化を図ります

- ▶ホームページやSNS等を活用したターゲットに合った戦略的な情報発信を行うとともに、旅行会社への営業や宣伝活動の実施
- ▶他市町村と連携して、大和高原地域の魅力を都市部を中心にPRするとともに、イベントを開催するなど広域での周遊・滞在型観光の推進



こんな事業をしています (事業は 2021 年度)

- 龍王ヶ淵環境整備
- 菟田野駐車場整備
- 記紀万葉推進
- 宇陀四季彩推進
- 室生口大野駅「おもてなしステーション」設置
- 大和高原（東吉野）観光振興協議会負担金
- 団体旅行誘致推進
- 東奈良・名張圏域における広域連携

こんな計画が関連しています

- 宇陀市観光基本計画
- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

はじめに
宇陀市の紹介

中期基本計画
策定にあたって

基本構想

基本計画

健全なまち

暮らしやすいまち

活力あるまち

生涯輝くまち

自然豊かなまち

地域力を発揮するまち

資料編